

FLIR SC620 簡易取扱説明

2012.4 v1.3

※使用上の注意

カメラで太陽や高出力レーザーを見ないで下さい。検出素子が破損する恐れがあります。

1. 事前の準備

-メモリーカードの挿入

画像を参考にしてカメラにメモリーカードを挿入して下さい。



-電源の入れ方、切り方（ジョイスティック下のボタン）

ボタンを押すとカメラの電源が入ります。ボタンを2秒以上押し続けると、カメラの電源が切れます。

※電源ケーブルを接続したままでも使用することができます。



2. 基本操作

-メニューの説明

ジョイスティックの右のボタンを押すとメニューが開きます。もう一度押すとメニューがクローズします。

「アーカイブ」：保存した画像を見ることができます。

「カメラ」：測定を行います。

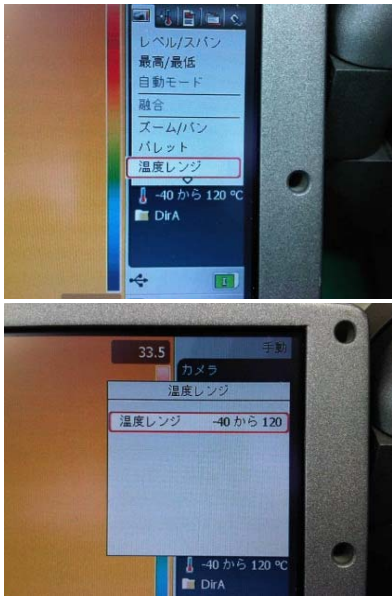


※ここでは次の様な設定を行うことができます：

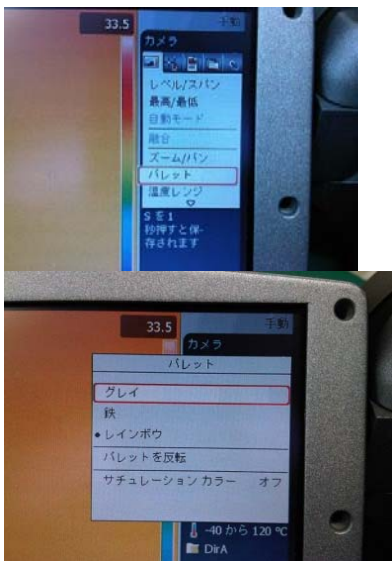
解析方法（スポット、エリア）の選択



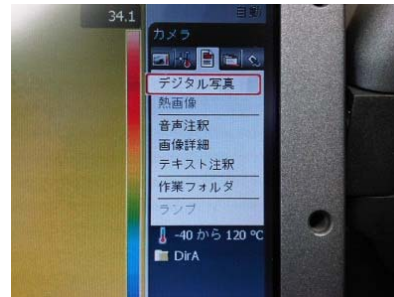
温度レンジの変更方法は次から行えます。



パレットの変更は次のメニューから行え、グレイ（モノクロ）、アイアン（Iron）、レインボー（Rainbow）から選択可能です。

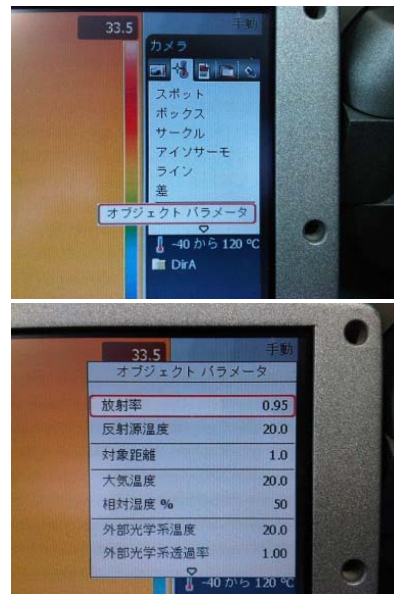


可視画像への切り替えは次のメニューを参考にし「デジタル写真」を選びます。赤外線画像に戻すには「熱画像」を選択します。



-オブジェクトパラメータの設定

「オブジェクト...」を選択すると、放射率、反射温度、距離、大気温度、相対湿度の設定を行うことができます。



-レベル/スパンの切り替え手順

自動調整、手動調整の変更が行えます。手動に設定後、ジョイスティックの動作によりレベルとスパンを変更できます。ジョイスティック操作：

- 「←」：スパンが狭くなります。温度差小
- 「→」：スパンが広がります。温度差大
- 「↑」：レベル位置が高温に移動します
- 「↓」：レベル位置が低温に移動します



-フォーカス方法

マニュアルフォーカスはレンズ周囲にあるフォーカスノブを回転させます。



オートフォーカスは次のボタンを上から押します。

左右に動かすことによって、フォーカス位置を変えられます。



3. 測定およびデータ移動

-測定の方法

「S」ボタンを押すと、画像を保存することができます。

- ・「S」ボタンを短く押す毎に、画像を静止させたり、解除したりできます。
- ・「S」ボタンを長押しすると、画像を保存します。



-データの移動方法

カメラからメモリーカードを取り外し、PCへ挿入します。



-保存したデータの確認

メニューから「アーカイブ」を選択すると保存した画像を確認、編集することができます。

